

2011 年度若手研究者国際グラントの募集

1. 若手研究者国際グラントの目的

若手研究者が国際的レベルで活動するのを支援し、国際的に活動できる研究者の育成を図る。

2. 申請資格条件（以下の条件をすべて満たすこと）

- 1) エイズGCOE内の研究室に所属する教員・研究者（熊本大学に雇用されているものに限る。）
- 2) 申請締め切り時、博士取得後 10 年未満 かつ 42 歳未満であること（ただし継続申請の場合は超えても構わない。）
- 3) ある程度海外の共同研究の実績がある研究課題であること（これから行おうとする課題は実績を積んでから、翌年度申請すること）。

3. 申請書の提出方法と審査など

申請者は、海外共同研究者と事前に協議し、英語の申請書（別紙）を提出する（各研究室のシニア研究者は助言する程度とし、申請書作成に直接かかわらないこと）。提出された申請書は、熊大外の審査委員に委託し評価を受け、最終的には研究委員会で採択を決定する。必要な場合は、面接を行う。申請期間は1年とし、最大同一課題で3年までの継続申請を認める。採択数は原則3件以内とし、その年度の予算が許し、優秀な申請が多い場合は、4件以上採択する場合もある。（採択数が少ない時は、年度途中の募集も検討するが、原則年1回、4月に募集する。）

- 1) 提出期限：2011年4月27日（水）正午迄
- 2) 提出先：AIDS グローバル COE 推進室（akikei@kumamoto-u.ac.jp）

4. 採択者への支援

- 1) 年額500万円以内の研究費の支援
- 2) 研究費の使用範囲（原則国内で使用のこと。ただし海外で必要な場合は協議する。）
 - ・採択者及び海外の共同研究者の渡航旅費（学会出張旅費は原則認めない。共同研究に必要な海外共同研究者研究施設への旅費、海外共同研究者等の熊本大学への共同研究のための旅費、研究調査旅費で真に必要なものに限る。）
 - ・海外との共同研究に必要な消耗品・機器の購入費
 - ・海外との共同研究に必要な研究支援者の人件費
 - ・その他海外との共同研究に真に必要な研究費で、大学からの支払が可能なもの。

5. 採択された研究者の義務

研究報告提出の義務：

- ・継続申請へ応募する場合は、継続申請書様式中にある"年間報告"をもって報告とする。
- ・研究期間の最終年度は年度末に所定の様式にて報告すること。
- ・翌年度のgCOE国際セミナーもしくは熊本エイズセミナーでの英語による発表

申請内容（新規）

1. 申請者名前、年齢、所属、身分、経歴（大学院以降）、博士号の取得年月日
2. 共同研究の課題名
3. 研究予定期間（3年以内で記載）
4. 海外共同研究者の名前、年齢、所属、身分
5. 研究内容の概要
6. 本研究課題に関する研究の準備状況（今までの成果も含む）
7. 本研究課題に関する海外共同研究者との今までの連携状況
8. 研究計画
9. 期待される成果
10. 申請者の過去3年間の研究論文リスト
11. 海外共同研究者の過去3年間の研究論文リスト

申請内容（継続）

1. 申請者名前、年齢、所属、身分、経歴（大学院以降）、博士号の取得年月日
2. 共同研究の課題名
3. 研究予定期間（通算3年以内で記載）
4. 海外共同研究者の名前、年齢、所属、身分
5. 研究内容の概要
6. 前年度報告
 - 6-1. 研究進捗状況
 - 6-2. 研究成果
7. 継続申請
 - 7-1. 研究計画
 - 7-2. 期待される成果
8. 前年度会計報告
9. 研究費使用内訳